令和8年9月定例会

8月24日～9月18日

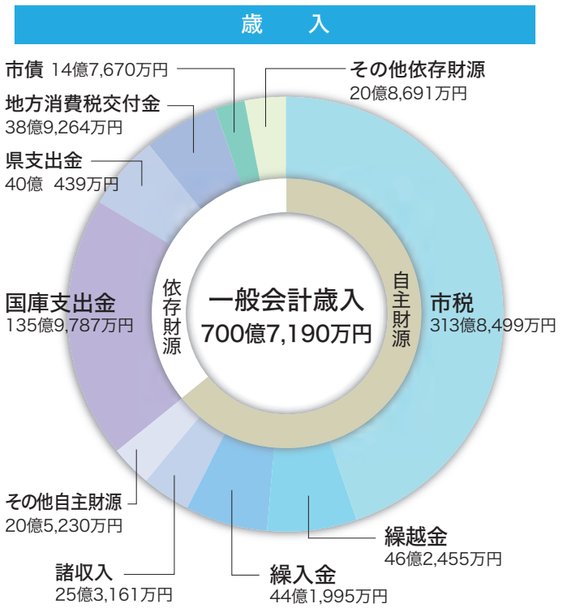
議案などの詳細はこちら

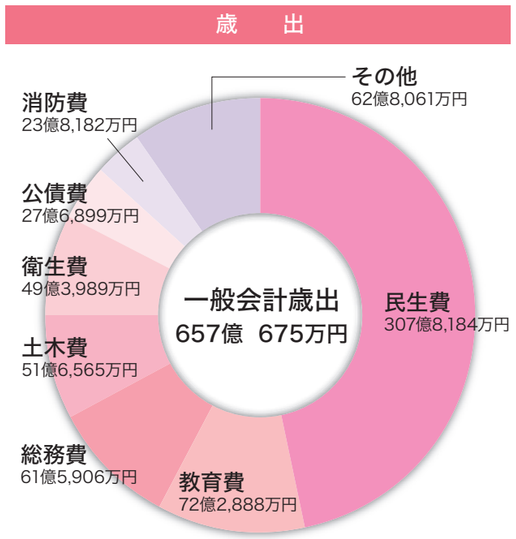
主な議案

今定例会では、令和７年度決算を含め、市長提出議案などが３０件、議員提出議案が６件、陳情が１件提出されました。ここでは、決算の概要と主な議案を紹介します。

令和7年度決算を認定！

令和7年度一般会計決算では、前年度と比較して歳入が2．1%、歳出が2．7%の増加となりました。歳入は、前年度と比較して約14億6,875万円増額しており、市税をはじめ、国庫支出金、繰越金などの増加が主な要因となっています。歳出を占める割合では、社会福祉に関する費用である民生費が４６．８%で最も多く、教育費が11．0%と続いています。





※千円単位は四捨五入
（合計と内訳の計が合わない場合があります）

定例会初日には、代表監査委員である小川千恵子氏による監査報告が行われました。



一般・特別会計、上下水道事業会計は、いずれも健全財政を堅持

小川代表監査委員

◉令和７年度　健全化判断比率※

比率名	令和７年度	令和６年度
実質赤字比率	ー　(11.63)	ー　(11.68)
連結実質赤字比率	ー　(16.63)	ー　(16.68)
実質公債費比率	7.5　(25.0)	7.8 (25.0)
将来負担比率	27.9 (350.0)	23.1 (350.0)

単位%

①(　)は財政の健全化が必要とされる早期健全化基準を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「ー」表示となります。

特別会計決算

歳　入	243億3,503万円（前年度比3.3%増）
歳　出	232億7,019万円（前年度比2.0%増）

水道事業会計決算

収益的収入	33億4,424万円
収益的支出	25億9,795万円
資本的収入	2億1,786万円
資本的支出	9億　541万円

下水道事業会計決算

収益的収入	26億8,188万円
収益的支出	24億9,943万円
資本的収入	20億7,669万円
資本的支出	31億5,662万円

※千円単位は四捨五入

※健全化判断比率…自治体の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために定められた４つの指標

一般会計

認定第１号　令和７年度戸田市一般会計歳入歳出決算認定について

令和７年度 一般会計決算を認定

Q 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助事業の予算執行額、課題の認識は。

A 予算執行額は予算額50万円、執行額50万円、執行率100%。補助金申請者数は13人、補助金交付件数は29件。補助金交付額は、例年年末頃予算額に到達しており、予算執行状況等を踏まえた予算額の計上が課題と考える。

Q 下笹目バスターミナル再整備工事の入札不調となった経緯は。

A 令和７年６月と令和８年２月の一般競争入札は応札者がなく、令和８年５月の指名競争入札は予定価格超過で不調となった。事業者へ超過する理由をヒアリングしたところ、バス運行下では作業制限や複雑な工程管理等を伴うため、難易度が高く、また、建築士等の確保も難しく、制約の多い工事は慎重にならざるを得ない。さらに、中東情勢などにより、資材調達や価格の不安定さもあり、熟慮の上、受注を判断しているとのことである。

認定（賛成21人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団 本田　哲 議員

実質収支比率は黒字だが、一方で市民に十分な行政サービスが行われていたか。余剰金を全額財政調整基金に積むことなく、物価高対策、生活支援策として市民へ還元すべき。

賛成 政策ＴＯＤＡ 遠藤 英樹　議員

賛成するが一部要望する。物価高を考慮した予算編成、可能な限り資源を投入した雨水対策の加速、自治体基幹業務情報システムの国の共通仕様に合わせた標準準拠システム移行の推進など改善を求める。

賛成 保守の会 河合 ゆうすけ　議員

賛成するが一部改善すべき。国際交流協会の一部の海外派遣事業、外国人支援事業には否定的。外国人への生活保護の見直し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術への補助増額を求める。

賛成 戸田の会 矢澤 青河　議員

中学生の給食費無償化、産後ケア事業の拡大、雨水貯留管の整備、物価高対策など高く評価。財政調整基金は災害や不測の事態に市民サービスを停滞させないための命綱。

特別会計

認定第２号　令和７年度戸田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

令和７年度 国民健康保険特別会計決算を認定

認定（賛成21人 反対3人）

賛成 戸田の会 小沼 さゆり　議員

高所得者に応分の負担を求める一方、軽減判定基準額を引き上げ、低所得世帯の負担軽減に配慮している。国の制度変更に市も合わせなければ現場が混乱し、市民が不利益をこうむることになる。

特別会計

認定第12号　令和７年度戸田市水道事業会計決算認定について

令和７年度 水道事業会計決算を認定

認定（賛成21人 反対3人）

反対 日本共産党戸田市議団 むとう 葉子　議員

水道事業法および地方公営企業法を踏まえ、水道料金の値上げは避けられた。また低所得者への減免は検討するべき。国に対し、建設改良費増額を求め、「命の水」が停止しないよう求める。

賛成 戸田の会 野澤 茂雅　議員

市民の負担に配慮しつつ施設更新に必要な財源を確保し、将来への安定給水の基盤を強化するものと評価。水道料金の負担軽減も段階的な料金引き上げと災害時の減免制度による対応は妥当。